

平成 27 年 10 月 9 日（金）

【後期】相談 【講義と演習⑧-2】セッション②

（事例シート 2）

- 1 生活指導教諭（以下、教諭）：宇都宮さん、今日は来てもらってありがとうございます。こちらがお電話で少しお話をした山田さんです。
- 2 相談支援員（以下、支援員）：どうもこんにちは。自立相談支援センターの宇都宮です。
- 3 相談者：よろしくお願ひします。山田です。今日はわざわざ来てもらってすみません。
- 4 支援員：いえいえ、とんでもない。どうぞよろしくお願ひします。
- 5 教諭：それで早速なんですけれども、山田さんの娘さんが不登校の生徒でして。最近、学校を欠席したり、出てきても授業中居眠りをしたりということがあって。お話を伺ったら、ご家庭がいろいろ大変ということで。一番はお父さんが働いていらっしやらないということなんですけれども。それを何とかしなきゃということですね。
- 6 相談者：そうなんですよね。夫が働いてなくて、家計がきびしくて。
- 7 支援員：そうですか。なかなか大変ですね。私たちのほうでも力になりたいと思いますので、相談していきましょう。
- 8 相談者：ありがとうございます。
- 9 教諭：それじゃ、そういうことで、あとはお願ひします。
- 10 支援員：わかりました。では、山田さん、よろしくお願ひします。

（教諭退室）

- 11 支援員：そうしたら改めて、よろしくお願ひします。
- 12 相談者：はい。
- 13 支援員：お父さんが働いていないということなんですけれども、もうちょっと詳しく聞かせてもらえますか。
- 14 相談者：はい、今夫が働いていなくて、私がパートで働いているんですね。それで忙しくて、家にあまりいないもんですから。そのせいか娘がちょっと荒れ気味というか…。学校にも迷惑をおかけしてしまっ、それでなんというか、呼び出されてしまっ、ですね…。何とかしたいとは思っ、ているんですけど、私も忙しくて、なかなか娘と顔を合わせる時間がなくて、というような、まあそういう感じですね。

- 15 支援員：なるほど、そうですか。大変ですね。えーと、お父さんはいつから働いていないんですか。
- 16 相談者：1年ぐらい前からです。それまで夫は飲食店をやってたんですけど、それがつぶれてしまって。
- 17 支援員：なるほど、飲食店ってどんな？
- 18 相談者：ラーメン屋です。
- 19 支援員：つぶれたっていうのは経営がきびしくなって？
- 20 相談者：そうですねえ。2年ぐらい前に、うちの斜め前のレストランが廃業しまして。で、そのあと、その空いたところにチェーンのラーメン屋さんが入ってきちゃったんですね。そちらは安いもんですから、けっこうお客さんをとられてしまって…。
- 21 支援員：なるほど、それで経営が悪化したということなんですね。
- 22 相談者：うん、そうです…。
- 23 支援員：その後、お父さんは再就職に向けて活動をしたりとか、そういったご様子はいくつありますか？
- 24 相談者：うーん、店がつぶれて、その店をたたんですぐのころは、ハローワークに行ってみたみたいです。ただ、何度かいったようなんですけど、そのまま行かなくなってしまって。
- 25 支援員：就職活動のこと、何か話していませんか？
- 26 相談者：うーん、何も。ただ帰ってくると、落ち込んでいるようには思いましたね。夫はずっとラーメン屋できて、他の仕事って言われても難しいと思うんですよね。
- 27 支援員：ずーっとラーメン屋さんなんですか。
- 28 相談者：はい。あの、もともとは夫の両親がやってたお店で、それを手伝ってたんですね。両親が高齢ということで、それで夫のほうがあのお店を継いだんですけれども。
- 29 支援員：なるほど。他にアルバイトでも何か仕事をしたりとかというのはないですか。
- 30 相談者：うーん、友人の店をたまに手伝いに行ってるみたいです。
- 31 支援員：そちらに雇ってもらおうという話にはならないんですか。
- 32 相談者：うーん、聞いたことないですねえ。同じ商店街のお店なんですけど、個人店は今どこもきびしいんで。一人雇う余裕があるかなあ。難しいんじゃないでしょうかね。
- 33 支援員：そうですか。でもお母さんも仕事だけじゃなくて、家事や育児もあって大変だし、お父さんに働いてもらわないと困りますよね。
- 34 相談者：そうなんですよねえ。どうしたもんか、私もちょっとつらくて。

- 35 支援員：私たちもぜひ、お父さんにお会いし、仕事のことを聞いてみて、説得してみますよ。これまでラーメン屋をやっていた実績を活かして働けるところを探してみたり、場合によっては違う分野に職業訓練を受けて転職する方法もありますから、何とか考えていきましょう。
- 36 相談者：ありがとうございます。娘もまだまだお金がかかりますので、心配です。
- 37 支援員：そうですね。お父さんが働くようになれば家計も楽になりますよね。ところでお父さんはラーメン屋をやっていたころ、どんな様子だったんですか。
- 38 相談者：そうですねえ、常連さんにかわいがられてましたね。両親の代からのお客さんも多くて、子どものころから夫のことを知っててくれる人が多かったんで。正直ちょっと頼りない二代目でしたけれども、応援してやろうという年配の方が多くいらしてました。なんて言うか、成績はあんまりよくないタイプですけど、人懐っこいところがあって、明るい性格なので、ずっとかわいがられてましたねえ。
- 39 支援員：なるほど、そうですね。お父さんの長所ですね。
- 40 相談者：そうですねえ。こうなる前は娘も明るくて、家の中が賑やかだったんですよ。なんでこうなっちゃったかなあって。なんかもう、夫はあまり家にいないし、家族とも顔を合わせようとしなくて、今は日中はパチンコばかりなんですよ。私も家にいないんで、夫が何考えてるのかわからないんです。
- 41 支援員：そうでしたか。それじゃあ、お父さんとは最近はあまりお話とかはされていないんですか。
- 42 相談者：うーん、そうですねえ。
- 43 支援員：仕事のこととか、就職活動のこともまったく？
- 44 相談者：うーん、私が帰るといらないか、寝てるかのどっちかなんで。聞いてないですね、何も。

平成 27 年 10 月 9 日 (金)

【後期】相談【講義と演習⑧-2】セッション②

(ワークシート 2)

1. どのような情報が今後必要となりますか？

2. 必要な情報をどのように集めますか？

3. このあと、どのように支援を進めますか？

平成 27 年 10 月 9 日 (金)

【後期】相談 【講義と演習⑧-2】セッション②

(事例シート 3)

現時点で把握された状況についての要約  
(面接と数回の訪問、関係者から収集した情報から)

1. 聞き取ったこと

(1) 夫の達夫さん (47 歳) について

- 1 年前まで飲食店を経営していたが、経済不況のあおりを受けて廃業に追い込まれた。現在は、気が向いたときだけ友人の飲食店を手伝っており、ほぼ毎日パチンコに通っている。達夫さんは子どもの頃から料理が好きで、自分の店を構えることが夢だったが、店を廃業に追い込んでしまったことで、目標を失い抜け殻のようになってしまった。
- 妻からは、パチンコばかりに通い、やる気のない態度を改めるよう注意されているが、妻の忠告を聞く気には一向になれず、家では口論が絶えない。
- ラーメン屋を廃業したことに傷ついて心を閉ざしてしまい、支援員に会おうとしない。妻によれば、本当は働きたい気持ちをもっているが、自信を失って今は就職活動をすることも考えられずにいるのではないかと思われる。
- ラーメン屋の資金繰りのためにカードローンから消費者金融から借入をしており、妻が請求書等で確認した範囲では、負債は約 300 万円にのぼっている。支払いが滞り気味で、催告の通知や取り立てが来ている。

(2) 妻の恵子さん (45 歳) について

- 1 年前までは専業主婦だったが、夫が仕事を失って以来、家計を支える役割を担うために、パートを掛け持ちするようになった。現在、パン屋での販売 (9 時～17 時・月収 13 万円・社会保険なし)、喫茶店の手伝い (月収 5 万円)、スナックの手伝い (月収 3～4 万円) の 3 つの仕事をしている。専業主婦で仕事の経験がないので、正社員で働くことは難しいと思っているが、できれば 1 か所で安定した仕事に就き、子どものために残業せずに帰宅したいと考えている。
- 収入は少なく、生活はいつも苦しい状況にある。健康保険料や学校の給食費等の滞納があるが、全体を把握できていない。携帯電話も時々支払いが滞って不通になることがある。
- 以前は、ふさぎ込む夫の姿を見て不憫に思い、夫が立ち直るまで自分が頑張ろうと思っていたが、今は、いつまでも変わろうとしない夫の姿にいらだちを感じるようにな

った。

- 長女のことを心配しているが、長女が反発してきちんと話ができないことに心を痛めている。
- 今の状況を何とかしたいが、仕事に追われ時間が取れず、疲れが高じてイライラして夫や長女にあたることも多い。
- 学校と自立相談支援機関に協力してほしいと思っている。

### (3) 長女の里美さん(14歳・中学2年生)

- もともとは明るい性格で友だちも多かったが、中学1年生の時に父親の店が倒産したことを同級生にからかわれてからは、学校に行っても一人で過ごすことが多くなった。母親には、「友だちにからかわれたことは気にしていない。でも、無精ひげを生やしてイライラしているお父さんをみると、仕事が大変なのにお店の休みの日には必ず遊んでくれたお父さんがそんなふうになってしまうなんてつらくて、お父さんにどう接したらよいかわからない」と話している。
- 母親は長女について、小さい頃から勉強が好きで、言われなくても宿題をやっていたことを覚えている。家で落ち着いて勉強できず、だんだん授業にもついていけなくなってやる気も失ったのではないかと思っている。また、両親の口論が絶えなくて家の雰囲気が悪く、家にいたくないのではないかと察している。
- 不良グループに誘われて夜に外出し、朝まで帰って来ないこともある。生活リズムが乱れて学校も遅刻や欠席が多い。
- 母親には、「授業についていけない」「友だちがいない」「学校に行きたくない」と話している。

## 2. 相談支援員が観察したこと、感じたこと

- 母親はかなり疲れている印象を受ける。面接のなかで遠くを見たり涙ぐんだりする様子があり、相談支援員が話しかけると我に返って返答する場面もあった。夫や長女の状況を心配してはいても現実の生活に追われて、問題解決に動く余裕がないのではないか。
- 長女は父親の様子に心を痛めている。休日には必ず長女と遊んでいたというエピソードから、父親は長女をとてまかわいがっていた様子うかがわれ、以前の家族関係は良好だったと考えられる。
- 訪問した際、夫が拒んだので妻や長女と玄関で話をするにとどまった。玄関は靴が散乱し、入り口に古新聞やチラシが積み上げられていたり、郵便がそのままにされていたりと雑然としていて、家事がおろそかになっている様子うかがわれた。

## 3. 学校から収集した情報

○里美さんは入学した当初は、いつも一人で教室に座っている大人しい印象の生徒だった。学習の遅れはあったが、教師が個別に質問したりすると懸命に考えて答えようとする姿勢が見られた。眠そうにして机に突っ伏していたりする様子は1～2か月くらい前から見られる。

○母親は学校から連絡すると必ず返事してくれる。給食費用や修学旅行の積立の支払いは時々遅れることがある。父親は学校行事に参加したことはなく、里美さんから父親の話が出たのも今回が初めてである。

平成 27 年 10 月 9 日 (金)

【後期】相談 【講義と演習⑧-2】セッション②

インタビュー・アセスメントシート (個人ワーク用)

ID		氏名	山田 恵子	最終更新日	平成25年5月××日
----	--	----	-------	-------	------------

サブ区分 フラグ		関連ID		備考	
-------------	--	------	--	----	--

■相談経路・相談歴

※当初 相談経路	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 自立相談支援機関がアウトリーチして勧めた	
	■ 関係機関・関係者からの紹介(関係機関・関係者名: <u>A 中学 生活指導教諭〇〇先生</u> )	
	<input type="checkbox"/> その他( )	

これまでの相談歴の有無(本人や家族に過去にどこかの機関への相談経験があるかを確認)

なし       あり

相談歴の概況／相談経緯(誰が、どこに、どのような相談をしたか、その結果がどうであったかを記載)

長女の学校での様子を心配した担任教諭が生活指導教諭とともに母と面談して家庭の状況を聞き取り。生活指導教諭が母に自立相談支援センターへの相談を促し、つながる。

■本人の主訴・状況

本人の 訴えや 状況 (生活歴 を含む)	
----------------------------------	--



■本人の主訴・状況(続き)

(1) 家族・地域関係・住まい

※同居者	■有(自分を含んで__3__人) □無	別居の家族	□有( ) □無
※婚姻	□未婚 ■既婚 □離別 □死別 □その他( )	※子ども	□無 ■有( __1__人 →扶養 ■有 □無)
家族の状況(子どものことを含む)			
住居	■持家 □借家 □賃貸アパート・マンション □公営住宅 □会社の寮・借り上げ住宅 □野宿 □その他( )	地域との関係	実家を継いでそのまま居住しているので、近隣との付き合いは長い。
特記事項			

(2) 健康・障害

※健康状態	■良い □良くない/通院している □良くないが通院していない	通院先/服薬・診断・症状等	
健康保険	■国民健康保険 □健康保険(国保以外) □加入していない	障害手帳等	■無 □有→□身体( __ )級 □知的(療育)( __ ) □精神( __ )級 ----- 自立支援医療 □利用 □利用せず
特記事項			

(3) 収入・公的給付・債務等

家計の収支状況	世帯として 月々入ってくるお金 (月額 22~23 万 円) 月々出ていくお金 (月額 万 円)	家計状況	国保税等の滞納があるようだが、本人も全体を正確に把握できていない
課税状況	□住民税非課税世帯である ■住民税非課税世帯ではない	滞納	■滞納あり □滞納なし
		債務	■債務あり □債務なし
公的給付(受給中)	□雇用保険 □高齢年金・遺族年金 □障害者年金 □特別障害者手当 ■児童手当 □児童扶養手当 □特別児童扶養手当 □住居確保給付金 □その他( )	生活保護	
特記事項			



■アセスメント結果の整理と支援方針の検討

課題と背景 要因	
※課題のまとめと支援の方向性 (300 字以内で整理)	
※チェック項目	<input type="checkbox"/> 病気 <input type="checkbox"/> けが <input type="checkbox"/> 障害(手帳有) <input type="checkbox"/> 障害(疑い) <input type="checkbox"/> 自死企図 <input type="checkbox"/> その他メンタルヘルスの課題(うつ・不眠・不安・依存症・適応障害など) <input type="checkbox"/> 住まい不安定 <input type="checkbox"/> ホームレス <input type="checkbox"/> 経済的困窮 <input type="checkbox"/> (多重・過重)債務 <input type="checkbox"/> 家計管理の課題 <input type="checkbox"/> 就職活動困難 <input type="checkbox"/> 就職定着困難 <input type="checkbox"/> 生活習慣の乱れ <input type="checkbox"/> 社会的孤立(ニート・ひきこもりなどを含む) <input type="checkbox"/> 家族関係・家族の問題 <input type="checkbox"/> 不登校 <input type="checkbox"/> 非行 <input type="checkbox"/> 中卒・高校中退 <input type="checkbox"/> ひとり親 <input type="checkbox"/> DV・虐待 <input type="checkbox"/> 外国籍 <input type="checkbox"/> 刑余者 <input type="checkbox"/> コミュニケーションが苦手 <input type="checkbox"/> 本人の能力の課題(識字・言語・理解等) <input type="checkbox"/> 被災 <input type="checkbox"/> その他( )

■スクリーニング

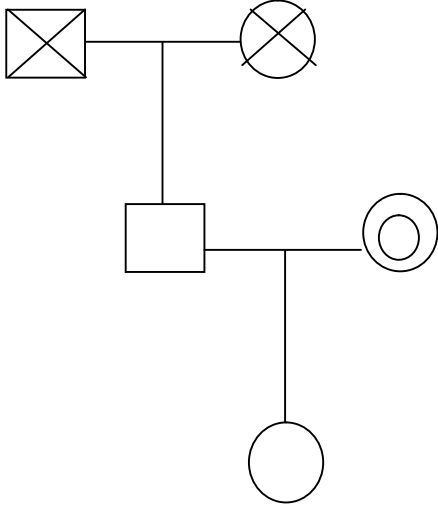
※スクリーニング実施日	平成 25 年 5 月 × 日
※対応結果・方針	<input type="checkbox"/> 1. 情報提供や相談対応のみで終了 <input type="checkbox"/> 2. 他の制度や専門機関で対応が可能であり、つなぐ (必要に応じて、事前連絡や同行支援を実施し、結果をフォローアップする) (→つなぎ先の制度・専門機関: ) <input type="checkbox"/> 3. 現時点では本人同意はとれていないが、引き続き同意に向けて取り組む <input checked="" type="checkbox"/> 4. 自立相談支援機関が継続支援し、プランを策定する <input type="checkbox"/> 5. スクリーニング判断前に中断・終了(連絡がとれない/転居等)
特記事項	

対応重要度	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
-------	---

【2】付随シート(紙での使用)

ID		氏名	山田 恵子
----	--	----	-------

■家族関係図

家族関係図(□=男性、○=女性)	支援経過における変化
	

■エコマップ(地域や周囲との関係性)

エコマップ	支援経過における変化



## インタビュー・アセスメントシート

## ■アセスメント結果の整理と支援方針の検討

<p>課題と背景 要因</p>	
<p>※課題のまとめと支援の方向性 (300字以内で整理)</p>	
<p>※チェック項目</p>	<p> <input type="checkbox"/>病気      <input type="checkbox"/>けが      <input type="checkbox"/>障害(手帳有)      <input type="checkbox"/>障害(疑い)      <input type="checkbox"/>自死企図  <input type="checkbox"/>その他メンタルヘルスの課題(うつ・不眠・不安・依存症・適応障害など)  <input type="checkbox"/>住まい不安定      <input type="checkbox"/>ホームレス      <input type="checkbox"/>経済的困窮      <input type="checkbox"/> (多重・過重)債務  <input type="checkbox"/>家計管理の課題      <input type="checkbox"/>就職活動困難      <input type="checkbox"/>就職定着困難      <input type="checkbox"/>生活習慣の乱れ  <input type="checkbox"/>社会的孤立(ニート・ひきこもりなどを含む)      <input type="checkbox"/>家族関係・家族の問題      <input type="checkbox"/>不登校  <input type="checkbox"/>非行      <input type="checkbox"/>中卒・高校中退      <input type="checkbox"/>ひとり親      <input type="checkbox"/>DV・虐待      <input type="checkbox"/>外国籍      <input type="checkbox"/>刑余者  <input type="checkbox"/>コミュニケーションが苦手      <input type="checkbox"/>本人の能力の課題(識字・言語・理解等)      <input type="checkbox"/>被災  <input type="checkbox"/>その他(_____) </p>

平成 27 年 10 月 9 日(金)【参考】  
【後期】相談 【講義と演習⑧-2】セッション②  
インタビュー・アセスメントシート

ID		氏名	山田 恵子	最終 更新日	平成25年5月××日
----	--	----	-------	-----------	------------

サブ区分 フラグ		関連ID		備考	
-------------	--	------	--	----	--

■相談経路・相談歴

※当初 相談経路	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 自立相談支援機関がアウトリーチして勧めた	
	■ 関係機関・関係者からの紹介(関係機関・関係者名: <u>A 中学 生活指導教諭〇〇先生</u> )	
	<input type="checkbox"/> その他( )	
これまでの相談歴の有無(本人や家族に過去にどこかの機関への相談経験があるかを確認)		
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり		
相談歴の概況／相談経緯(誰が、どこに、どのような相談をしたか、その結果がどうであったかを記載)		
長女の学校での様子を心配した担任教諭が生活指導教諭とともに母と面談して家庭の状況を聞き取り。生活指導教諭が母に自立相談支援センターへの相談を促し、つながる。		

■本人の主訴・状況

本人の 訴えや 状況 (生活歴 を含む)	<p>夫と本人、長女(14歳)の三世帯。</p> <p>夫は両親の後を継いでラーメン店を経営していたが、2年ほど前から経営が悪化して1年前に廃業。ハローワークに数回通ったが就職活動が思うようにいかず、現在は気が向いたときだけ友人の店を手伝う程度で、ほぼ毎日パチンコに通っている。本人からそのことを咎められるが、目標を失ってしまって抜け殻のようになり、家では口論が絶えない。廃業前の資金繰りで消費者金融からの借り入れが約300万円にのぼり、取り立てや催告の通知が来ている。</p> <p>本人は専業主婦だったが、夫が仕事を失って以来、パートを3つ掛け持ちして生計を支えている。夜まで働いても生活は苦しく、健康保険料や学校の給食費等の滞納があるが、全体を把握できていない。以前は夫が立ち直るまで何とか頑張ろうと考えていたが、いまは、いつまでも変わろうとしない夫の姿にいらだちを感じるようになった。</p> <p>長女は明るい性格で友だちも多かったが、中1のときに父親のラーメン店が倒産したことを同級生にからかわれてからは、学校に行っても一人で過ごすことが多くなった。家で両親の口論が絶えないこともあり、夜の外出が増え、不良グループに誘われて朝まで帰ってこないこともある。生活リズムが乱れて学校も遅刻や欠席が多い。本人はなんとか長女と話をしようとするが、長女が反発してきちんと話ができている。</p> <p>いまの状況を何とかしたいが、仕事に追われて時間が取れず、疲れが高じてイライラして、夫や長女にあたることも多くなっている。</p> <p>学校や自立相談支援センターの協力を得て家族全体の問題を解決していきたい。</p>
----------------------------------	---

■本人の主訴・状況(続き)

(1) 家族・地域関係・住まい

※同居者	■有(自分を含んで__3__人) □無	別居の家族	□有( ) □無
※婚姻	□未婚 ■既婚 □離別 □死別 □その他( )	※子ども	□無 ■有( __1__ 人 →扶養 ■有 □無)
家族の状況(子どものことを含む)	夫(47歳)。1年前にラーメン店を廃業してからは無職。ときどき友だちの店を手伝う程度で再就職に向けた意欲を失い、毎日、パチンコをするばかりで、夫婦の口論が絶えない。 長女(14歳・中2)。以前は明るく勉強好きだったが、最近、夜に誘われて外出し朝まで帰宅しない等生活リズムが崩れ、遅刻や欠席が目立つ。		
住居	■持家 □借家 □賃貸アパート・マンション □公営住宅 □会社の寮・借り上げ住宅 □野宿 □その他( )	地域との関係	実家を継いでそのまま居住しているので、近隣との付き合いは長い。
特記事項	夫はもともと人懐こく明るい性格。廃業する前は家庭内の雰囲気は賑やかで、父親は休日には必ず長女と遊んでいた。長女は父の様子に心を痛めている様子もある。		

(2) 健康・障害

※健康状態	■良い □良くない/通院している □良くないが通院していない	通院先/服薬・診断・症状等	
健康保険	■国民健康保険 □健康保険(国保以外) □加入していない	障害手帳等	■無 □有→□身体(____級) □知的(療育)(____) □精神(____級) ----- 自立支援医療 □利用 □利用せず
特記事項	仕事で疲れがたまっている。		

(3) 収入・公的給付・債務等

家計の収支状況	世帯として 月々入ってくるお金(月額 22~23万円) 月々出ていくお金(月額 万円)	家計状況	国保税等の滞納があるようだが、本人も全体を正確に把握できていない
課税状況	□住民税非課税世帯である ■住民税非課税世帯ではない	滞納	■滞納あり □滞納なし
		債務	■債務あり □債務なし
公的給付(受給中)	□雇用保険 □高齢年金・遺族年金 □障害者年金 □特別障害者手当 ■児童手当 □児童扶養手当 □特別児童扶養手当 □住居確保給付金 □その他( )	生活保護	
特記事項	夫が廃業前に資金繰りで借入した債務が約300万円ある		





■アセスメント結果の整理と支援方針の検討

<p>課題と背景 要因</p>	<p>○本人 長く専業主婦の生活であったのが、現在はパートを3つ掛け持ちしており、精神的・体力的負担は相当であると考えられる。夫が立ち直るまではと気力を維持してきたのであろうが、いつまでも変わろうとしない夫の姿に苛立ちを感じるようになったと話す。夫婦の口論が絶えないことが長女にも影響を与えていることに気づいているが、長女と話す時間が十分に取れないことに心を痛めている。一つひとつの課題を整理して見通しを立てていくなかで、家族関係の立て直しを図っていく必要がある。</p> <p>○夫 廃業に追い込まれたことで目標を見失い、他の仕事の経験も無いことから就職活動に踏み出す自信も持てない状況が続いていると思われる。家計の再建には夫の収入確保が必須となるが、まずは自立相談支援センターが信頼関係を構築することが必要である。もともとは明るい性格で長女との関係も良好であった点等を念頭におきながら、意欲を取り戻すきっかけとなる手立てを探っていく。</p> <p>○長女 家庭環境の変化が学習環境や友人関係にも影響を与え、生活のリズムや学校生活の乱れにつながっている。学習支援等でサポートしつつ、家族関係の立て直しを図り、意欲が取り戻されることを期待したい。</p> <p>○世帯全体 家計の全体を十分に把握できておらず、今後の収入の具体的な見通しを立てていくためにも、支出の整理と利用可能な制度の情報提供と手続き支援、家計管理の実行が求められる。</p>
<p>※課題のまとめと支援の方向性 (300字以内で整理)</p>	<p>①家計相談支援により家計の全体像を把握するとともに、債務整理を含めて支出の整理と利用可能な制度の申請をすすめ、世帯全体の必要な収入額の目安を明確にしていく。</p> <p>②本人について、一つの職場で安定的に働いていくために、転職の可能性を探る。</p> <p>③夫について、債務整理をきっかけに自立相談支援センターへの相談をはたらきかける。</p> <p>④長女について、学習支援の利用を提案して学習の遅れを取り戻すとともに、学校と連携しながら学校生活の立て直しを図る。</p>
<p>※チェック項目</p>	<p><input type="checkbox"/>病気    <input type="checkbox"/>けが    <input type="checkbox"/>障害(手帳有)    <input type="checkbox"/>障害(疑い)    <input type="checkbox"/>自死企図</p> <p><input type="checkbox"/>その他メンタルヘルスの課題(うつ・不眠・不安・依存症・適応障害など)</p> <p><input type="checkbox"/>住まい不安定    <input type="checkbox"/>ホームレス    <input checked="" type="checkbox"/>経済的困窮    <input "="" checked="" type="checkbox"/>家計管理の課題    <input checked="" type="checkbox"/>就職活動困難    <input type="checkbox"/>就職定着困難    <input checked="" type="checkbox"/>生活習慣の乱れ</p> <p><input type="checkbox"/>社会的孤立(ニート・ひきこもりなどを含む)    <input checked="" type="checkbox"/>家族関係・家族の問題    <input type="checkbox"/>不登校</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>非行    <input type="checkbox"/>中卒・高校中退    <input type="checkbox"/>ひとり親    <input type="checkbox"/>DV・虐待    <input type="checkbox"/>外国籍    <input type="checkbox"/>刑余者</p> <p><input type="checkbox"/>コミュニケーションが苦手    <input type="checkbox"/>本人の能力の課題(識字・言語・理解等)    <input type="checkbox"/>被災</p> <p><input type="checkbox"/>その他( )</p>

■スクリーニング

<p>※スクリーニング実施日</p>	<p>平成 25 年 5 月 × 日</p>
<p>※対応結果・方針</p>	<p><input type="checkbox"/>1. 情報提供や相談対応のみで終了</p> <p><input type="checkbox"/>2. 他の制度や専門機関で対応が可能であり、つなぐ (必要に応じて、事前連絡や同行支援を実施し、結果をフォローアップする) (→つなぎ先の制度・専門機関: )</p> <p><input type="checkbox"/>3. 現時点では本人同意はとれていないが、引き続き同意に向けて取り組む</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>4. 自立相談支援機関が継続支援し、プランを策定する</p> <p><input type="checkbox"/>5. スクリーニング判断前に中断・終了(連絡がとれない/転居等)</p>
<p>特記事項</p>	

<p>対応重要度</p>	<p><input type="checkbox"/>A    <input type="checkbox"/>B    <input type="checkbox"/>C    <input type="checkbox"/>D</p>
--------------	---

【2】付随シート(紙での使用)

ID		氏名	山田 恵子
----	--	----	-------

■家族関係図

家族関係図(□=男性、○=女性)	支援経過における変化
<p>The diagram shows a family structure. At the top left is a square with an 'X' inside, representing a deceased male. To its right is a circle with an 'X' inside, representing a deceased female. A vertical line descends from the center of these two, connecting to a square representing a male. To the right of this square is a circle with two concentric lines, representing a female. A vertical line descends from the center of these two, connecting to a circle representing a female.</p>	

■エコマップ(地域や周囲との関係性)

エコマップ	支援経過における変化

